

定演期 MS 選曲委員会資料

竹村知洋

はじめに～選曲意図、コンセプト～

サブステージと聞くと、どんな選曲を思いつくでしょうか。今まで海、愛の天文学が決まったことで、だいぶやれる曲のジャンル等も限られてくる頃なのですが、この2曲と合う定演曲ってどんな曲だろうと考えた時、答えは個々人で異なるものになるのではないかと思います。

今回、できるだけ幅広い視点での選曲を行なってもらうために、かなり分散したコンセプトで曲を選びました。主眼としているコンセプトは以下の通りです。

選曲	コンセプト
銀河鉄道の夜(信長貴富)	描写性 音の絵
祈る(三宅悠太)(未出版)	強烈なメッセージ性
フィリピン音楽の窓(オムニバス)	地域性
光と闇(オムニバス)	対称性
森の憧憬(オムニバス)	体感型 空間構成
Drei gesange(max reger)	古典派

各々、どの曲が MS にふさわしいのか、どういうコンセプトで MS 曲が決まるのが全体を見ていいのか考えて見てください。

* 注意

今回の選曲の資料の中には音源と楽譜が世に出回っていないものも含まれています。流出してしまうと、資料を提供してくださった方に迷惑がかかってしまうため(今回はかなりデリケートです)くれぐれも注意して扱ってください。流出しないは原則ですが、資料を所有していることなるべく秘密にしておいてください。

具体的に、特に注意が必要なのは以下の三点の資料です。

祈る(三宅悠太) 楽譜、音源 (未出版の楽譜であるため)

銀河鉄道の夜(信長貴富)音源 (特別な経緯で本来世に出回っていない音源をいただいたので)

よろしくお願いします。